

その他の飲食店における乗用車、バス、バイクを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	18～19	配達帰り、バイクで外灯が無く、暗くて道幅も狭い道路を走行中に、前方歩行者に気づかず衝突し転倒する。	19	—
5	13～14	配達先の現場で回収物を車に積み込みスライドドアを閉めた時に指を挟み負傷した。	42～49	30
7	3～4	勤務終了後、店舗を出発しバイクで走行中、道路の形状が山なりになっていたため、下からでは頂上付近の見通しが悪く、前方に停車している車両の列の最後尾に気が付くのが遅れた。気が付いた時に衝突を回避しようとして急ブレーキをかけたが、停止しきれず、バイクから投げ出されて転倒した。	42～49	1
10	8～9	自宅から自転車で向かう途中、雨風でタイヤが滑り転倒。	68～	10 29
11	11～12	配達の為、軽バンに乗り走行している時、前方から車が来た為、道路の左側に寄ったところ道路の端の段差に左前輪がはまり、ハンドルをとられてしまい、そのまま前方の電柱に車体の左前から衝突した際、前頭部、胸部、膝を打ち負傷する。	38～	10 29
12	23～24	三輪付バイクで配達中の往路にて、裏路地の緩やかなS字カーブの終わりで悪路にハンドルを取られてしまい、前後輪にロックがかかりスリップし、そのまま左側駐車場に駐車してあった車両2台に接触し転倒した。	22～	10 29

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html